

第二次健康増進計画

令和5(2023)年度 重点課題に対する取組の推進について

1

計画の最終年度 令和7(2025)年度が近づいているが、
目標値の達成に向けて、多くの課題が残されている

計画策定時より悪化している項目
改善傾向にあったものの、ここ数年悪化している項目

- ・園児や小学生、成人男性の肥満者の割合
- ・朝食欠食者の割合
- ・からだをこまめに動かしている者の割合
- ・特定健診・がん検診の受診率
- ・メタボリックシンドローム、糖尿病など生活習慣病に関わる有所見者割合

コロナ禍による生活習慣や受診行動の変化も一因と考えられる

子育て中の保護者も含め、肥満予防や望ましい生活習慣の大切さを働きかけていきたい

特定健診・がん検診の受診率向上に向けた取組を強化していきたい

企業を通じ、青壮年期でもある従業員の皆さんに対して、健康づくりの取組を積極的にすすめていきたい

2

関係各課と取組について相談

子育て支援課 保育課 学校教育課
介護高齢課 福祉課 スポーツ振興課

業務の中で感じている現状や課題は？

保護者にアプローチできる機会はあるか？

連携して取り組める場や方法は？

関係課の会議の場を活用できるか？



3

重点課題① 青壮年期への働きかけの強化 保護者世代への働きかけ



4

「保護者世代への働きかけ」を考えるにあたり

健康づくり推進会議でいただいたご意見

- ・スマートフォンなどによるネットの情報を頼りにしている人も多い。
- ・SNSを含め、いろいろな広報の手段を考えていけるとよい。
- ・保育園や小学校の手紙は、保護者は目を通す。発信の回数を積んで、個別に配布していくことも大事な事だと思う。

担当者の考えとして

- ・妊娠期からの食の働きかけが重要である。
- ・生活習慣病予防のため、乳幼児健診→園→学校とつなげてみることができるとよい。
- ・全世代において、肥満の課題がある。
- ・子どもの健康について発信する機会にあわせて、保護者への健康情報も発信していけるように工夫していく。

5

母子健康手帳交付時の健康相談 出産前のパパママセミナー

子育て支援課

健康推進課

現状・課題

- ・朝食欠食（妊娠前に欠食の習慣あり：26%）
- ・糖尿病や痩せが見られ、予防的な働きかけが必要



取組

- ・朝食欠食や調理が苦手な方に、バランスよく食べるコンビニ食の選び方の資料を配付
- ・出産前のパパママセミナーで、糖尿病予防の食事や望ましい体重増加量等について個別指導
- ・産科医院へ血糖値が高めの妊婦向けの食事療法資料を紹介
- ・すくすくネットで、妊娠期から幼児の食生活に関する情報発信を検討中

6

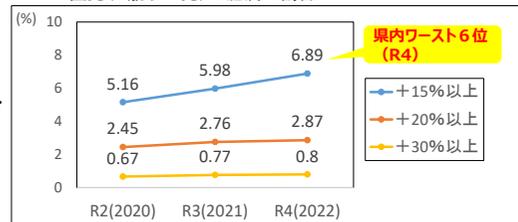
園における生活習慣に関する啓発

保育課

1. 新潟県小児肥満等発育調査（3歳以上児）結果から…

- ・給食だよりに、春と秋の発育調査データの推移や子どもの生活習慣について掲載
- ・肥満度+20%以上に該当する園児の保護者に対して成長曲線のリーフレットを配付し、個別相談を紹介

園児（3歳以上児）の肥満の割合



2. 主食量調査から…

- ・保育園の3歳以上児を対象に、家庭から持参するごはんの量を調査し、保護者に調査結果を報告
- ・結果とともに、年齢に応じた目安量や、生活習慣について啓発

7

保護者に対する啓発チラシの配布

保育課

健康推進課

- ・保護者自身の歯・口腔の健康に関する啓発
- ・子どもの食を切り口にした肥満予防に関する啓発
保護者の食習慣も見直すきっかけになる情報提供を予定



8

学校への働きかけ

学校教育課

健康推進課

現状

- ・学校保健委員会等のテーマは、「メディア」が中心
- ・保健体育の授業において、「市民の健康データ」は有用な情報である

取組

- ・地区ごとの市民の健診データ等、出前講座内容をパッケージ化し、より活用しやすいものにバージョンアップして小中学校に提供する
- ・養護教諭の他、授業担任、学校栄養教諭等にも周知し、保健体育の授業や保健だより、給食だより等での活用を促す

歯の健康展

健康推進課

子育て支援課

保育課

学校教育課

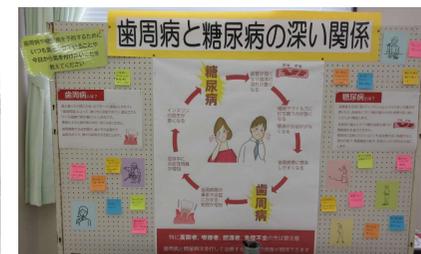
- ・歯科健診とフッ化物歯面塗布を予約制で実施。歯科健診は、必須とした。来場者561人 歯科健診101組269人受診(うち大人132人)
- ・保護者向けに健康づくりに関する啓発を行った。



【保護者も歯科健診】



【がん検診啓発】



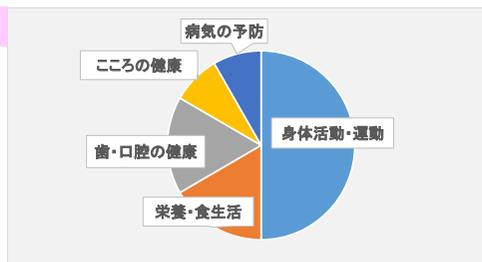
【糖尿病予防】

からだスッキリ講座(企業向け出前講座)

健康推進課

7事業所で実施 今後、9事業所で実施予定(7月末時点)
新規の申込や昨年度実施の事業者から別テーマでの依頼も出てきている。
腰痛予防や膝痛予防など運動に関する希望が多い。

希望テーマの内訳



「ヘルトの穴を一つ減らす！」をテーマの講座も提案中

からだスッキリ講座の様子、参加者の声

身体活動・運動

腰痛予防・膝痛予防に関する内容のニーズが高い。
「他の人と一緒に姿勢チェックをして、すぐに実践できるストレッチを紹介してもらえた」
「予防のために、姿勢に気を付けることの大切さが分かった」

歯・口腔の健康

自分の歯・口腔の状態について、初めて意識したという参加者が多かった。
「今まで受けていなかったが、歯科健診を受けようと思う」「毎食後に歯磨きをするようにしたい」

栄養・食生活

「標準体重やカロリー量の目安など数字で知ることができ、自分にあった食事量について考えることができた」「お菓子を買うときにカロリー表示もみるようにしたい」

こころの健康

「どうストレスとうまくつきあっていくと良いか、ストレス解消法も考えていきたい」
「ストレスを感じていないと思っていたが、ストレスで起こる体の変化で当てはまる部分もあり、気をつけようと思った」

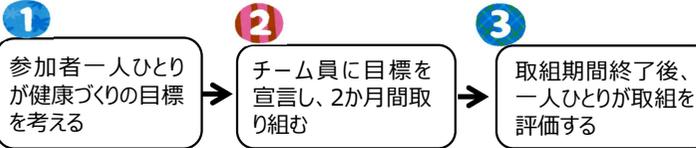
企業・事業所向け健康づくり宣言事業

健康推進課

健康づくり宣言

★健康づくり宣言の取組方法★

- R元 23事業所305人
- R2 22事業所541人
- R3 26事業所649人
- R4 35事業所618人
- R5年度 募集中



新規参加事業所を増やすため、企業や団体、学校などへ事業説明を行い、参加を呼びかけている



- ・企業・事業所における健康づくりの取組のきっかけになっている。
- ・参加者から取組終了後に自分で評価をしてもらうことで、生活習慣の改善につながっている。

企業・事業所訪問

健康推進課

介護高齢課

福祉課

スポーツ振興課

健康課題の聞き取り、健康づくり事業紹介

新たに企業訪問を実施

- ・健康経営優良法人認定企業
- ・にいがた健康経営推進企業登録企業
- ・社会福祉法人（保育事業を除く）



- ・認定や登録をうけたものの、取組のすすめ方などで迷ったり、相談できる場を求めている企業もあった。
- ・身近な相談先として活用をお願いするとともに、具体的な支援の情報提供を行った（事業の紹介、健診情報の分析の提案など）。

かしわぎき健康サポートカンパニー

スポーツ振興課

健康推進課

令和4年8月から 事業開始

➔ 令和5年7月末現在 **21事業所** が登録

← 事業所の取組を、市のホームページ等で紹介

【効果】

- ・企業PR
- ・他社の取組を知り、各事業所の取組の底上げを図る



登録事業所第1号の有限会社山田工業の川上社長へ市長が登録証を渡す➔

連携協定による取組の推進

健康推進課

協定先	締結年	連携事項
柏崎信用金庫	H26(2014)年	がん対策推進に向けた連携に関する協定
柏崎商工会議所・商工会	H28(2016)年	保健と福祉に関する包括的協定
協会けんぽ新潟支部	H29(2017)年	健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定
明治安田生命保険相互会社	R3(2021)年	健康増進に関する連携協定
アクサ生命保険株式会社	R5(2023)年	健康経営・健康増進に関する連携協定

【主な協定内容】

- 健康づくり事業の推進
 - 生活習慣病予防対策(健康講話・出前講座の開催、検診情報の提供と受診勧奨)
 - 健康経営の普及推進
 - 健康増進計画の取組の周知
- など



アクサ生命保険と連携協定締結

生活保護世帯への取組

今年度から、
新規に生活保護が開始となる世帯に対して、
保健師が面接を実施

- ・生活習慣や健康状態の確認
- ・市の健診（各種がん検診や歯周病検診を含む）の受診勧奨
- ・健（検）診の申込や減免申請手続きの支援
- ・子どもがいる世帯には、必要な支援先やサービスを紹介



障害福祉サービス事業所に対する 健康づくりの取組

1 通所系サービス利用者の健康づくりに関する現状を調査

- ・これまで障がいのある方の健康づくりについて、取組が少なかったが、まずは現状を把握するため、福祉課と協力し調査を行った。
- ・ゆったり健診、歯周病検診（口腔健診）について、事業所としては知っているがサービス利用者の利用状況の把握まではしていないところが多かった。

2 従事者へ健康づくり事業を周知

- ・健康づくり宣言やからだスッキリ講座などの健康づくり事業の情報をメールで配付した。

重点課題② 生活習慣によるがんの予防と 早期発見の取組

がんサポート体制・相談窓口の周知



企業の現状聞き取り

前述の企業・事業所訪問の際に、「がん検診の受診状況」や「がん療養のサポート体制・現状」についても、聞き取りを実施。

【事業所の実態】がん検診の受診方法は、事業者の考え方、労働者の選択により、様々→受診状況は未把握

人間ドックを受診する方	■がん検診をセットで受診
協会けんぽが行う生活習慣病予防健診を受ける方	■定期健康診断の検査項目に加え、「胃がん」「大腸がん」がセット（追加で「乳がん」「子宮頸がん」も受診可）
それ以外の方	■事業所独自で健診に合わせて「胃がん」「大腸がん」検診を用意 ■市の検診を受ける（年休対応。受けやすい雰囲気である。） ■がん検診は未受診

（参考）定期健康診断	労働安全衛生法に基づく義務として1年に1回実施 （身長・体重・腹囲・血圧測定、血液・尿・心電図検査、胸部X線（肺がん検査））
がん検診	法的根拠がなく、福利厚生等の一環として任意で実施

がん検診受診率向上に向けた取組①

連携協定の活用

柏崎信用金庫	がん検診希望調査のPR
柏崎商工会議所・商工会	商工会議所ニュースにがん検診チラシ同封
協会けんぽ新潟支部	被扶養者健診と市の乳がん検診同時実施
明治安田生命保険相互会社	加入者へのがん検診コラボチラシの配布
アクサ生命保険株式会社	企業訪問の際のがん検診受診の周知

21

がん検診受診率向上に向けた取組②

柏崎市のLINEを活用した日程周知

市の公式LINEに登録している方のうち、「がん検診・健診日程」に関する情報の受信希望者に対して配信。



22

がん患者医療用補整具購入費助成事業

がん治療患者のアピランスケアを応援するため、令和5(2023)年4月から事業開始。

7月末現在における申請件数・・・2件

アピランス(外見)ケアとは?

がん治療による外見の変化に対し、変化を補完し、がん患者さんの苦痛を軽減するケアのこと



がん患者に対する医療用ウィッグ、乳房補正具の購入費への支援
購入費用の1/2 (上限20,000円)

23

広報かしわざきでの特集記事

がんになっても、
柏崎で自分らしい生活を

がんと診断された時から始まる

緩和ケア

健康推進課 TEL20-4213 FAX22-1077

「緩和ケア」や、柏崎総合医療センターの取組を紹介
(9月号・全3ページ)

2人に1人――。

生涯でがんになる人の数です。多くのがん患者さんは、体や治療のことだけでなく、将来への不安など、つらい思いを抱えます。

そのつらさを少しでも和らげるために行われるのが緩和ケアです。緩和ケアはがんと診断された時から始まります。

24

